がんばる人にまる

（敬称略）

2026年後期全秋田ダンス選手権大会及び各級競技会
- ◆ジュニアボールルーム
  - ▶第３位　松田　渚（五一中２年）

第42回秋田県少年少女レスリング選手権大会
- ◆中学生男子の部　48㎏級
  - ▶第２位　御所野　樹（五一中３年）

第17回ミズノカップ秋田県小学校女子ソフトボール大会
- ▶優　勝　八郎潟SBC（ソフトボールクラブ）
  - 舘岡　萌花（五城目小６年）中村　陽穂（五城目小６年）
  - 小玉　優心（五城目小６年）

第25回内田清杯東北小学生女子ソフトボール大会
- ▶第１位　八郎潟SBC（ソフトボールクラブ）
  - 舘岡　萌花（五城目小６年）中村　陽穂（五城目小６年）
  - 小玉　優心（五城目小６年）

第42回秋田県少年少女レスリング選手権大会
- ◆小学５・６年女子の部37㎏級
  - ▶第１位　工藤　桃花（五城目小５年）
- ◆小学３・４年男子の部38㎏級
  - ▶第２位　佐々木悠人（五城目小４年）
  - ▶第３位　加藤　真寛（五城目小４年）
- ◆小学３・４年男子の部30㎏級
  - ▶第１位　御所野　快（五城目小４年）
- ◆小学１・２年の部28㎏級
  - ▶第２位　加藤　千颯（五城目小２年）
- ◆小学１・２年の部26㎏級
  - ▶第３位　工藤　楓大（五城目小２年）
- ◆小学１・２年の部22㎏級RED
  - ▶第２位　伊藤　真士（五城目小１年）

第13回北秋田市縄文水泳競技大会
- ◆小学６年　女子小学生50㍍平泳ぎ　▶第１位
- ◆小学６年　女子小学生25㍍バタフライ　▶第２位
- ◆小学６年　女子小学生100㍍個人メドレー　▶第２位
  - 小笠原梨乃（五城目小６年）
- ◆小学６年　女子小学生50㍍バタフライ　▶第２位
- ◆小学６年　女子小学生100㍍個人メドレー　▶第３位
  - 筒井　怜（五城目小６年）
- ◆小学５年　男子小学生100㍍自由形　▶第１位
- ◆小学５年　男子小学生50㍍平泳ぎ　▶第３位
  - 福田　祥也（五城目小５年）
- ◆小学５年　女子小学生25㍍バタフライ　▶第２位
- ◆小学５年　女子小学生50㍍平泳ぎ　▶第２位
- ◆小学５年　女子小学生50㍍背泳ぎ　▶第２位
  - 石井みなみ（五城目小５年）
- ◆小学校　混合小学生100㍍メドレーリレー
  - ▶第１位　小笠原梨乃（五城目小６年）筒井　怜（五城目小６年）
  - 石井みなみ（五城目小５年）福田祥也（五城目小５年）
- ◆小学校　混合小学生100㍍フリーリレー
  - ▶第１位　石井みなみ（五城目小５年）福田祥也（五城目小５年）
- ◆小学校　女子小学生100㍍フリーリレーペア
  - ▶第３位　小笠原梨乃（五城目小６年）筒井　怜（五城目小６年）

第53回青森市レスリング選手権大会
- ◆小学１年23㎏級
  - ▶第２位　伊藤　真士（五城目小１年）
- ◆幼年（年長）19㎏級
  - ▶第２位　伊藤　帆夏（もりやまこども園 年長）

学童野球秋田県郵便局長杯
- ▶最優秀選手賞　鈴木　結來（五城目小５年）

ごじょうめの文芸

【短歌】

三面鏡に映る三つの秋空に
輝く雲の一つ流るる
下樋口　小熊正明

つややかに赤飯炊かれ彼岸あく
うまき味なり秋深まりぬ
八郎潟町　畑澤英子

明け空に客人のような月の居て
欅並木の道を見下ろす
古川町　小濱キヱ

【俳句】

白神と鳥海遥か天高し
畑町　本間恵子

君となら無言の時も心地良い
紀久栄町　森　ひろみ

虫たちの奏でる音にあわて出す
長町　平川のぶ子

青い柿クマは今年も来るのかな
台　伊藤均

性格がわかってしまう笑い皺
新畑町　渡辺松風

【川柳】



令和8年度 五城目町文学祭入選作品集

短歌

選者　加藤隆枝（秋田市）

入選一位『虹立ちぬ』
（下樋口）小熊正明

虹立ちぬ　誕生の日の朝の虹消えることなく大空にあれ
北限の桃と苺を今日こそはわが為に買はむ　誕生の日ぞ
九十二歳　無為の一日を思ひつつ冷たき夜の桃を食みをり

評　「朝の虹」の昂揚感に始まり、しんみりと「夜の桃」で終わる一日の感慨が余すところなく伝わってくる。九十二歳の誕生日を迎えた特別感が、「今日こそは」にも滲み出ている。

入選二位『ラストラン』
（西野）鎌田康子

手放すと決意した後しみじみとメタルグリーンの車体をなでるふるさとへまっすぐ続くこの道を
「威風堂々」聴きつつ走る
四十年つれそってきたエンジンの音高くして今日ラストラン

評　長年の愛車を手放す心情を、ありふれた感情語を用いずに行動として詠むことで、読者の共感を呼ぶ一連。色や曲名、年数が具体的に詠み込まれ、ラストランの気分も高まる。

入選三位『夢に向かって』
（大川）渡部光人

子は夢を叶えて欲しい親として
悩みどころは援助の加減
自主練のフライを追えば眩しくて
キャッチするなり夢掴むごと
未だかたち見えない夢の点描画
今はひたすら前に進もう

評　三首とも異なる区切れで調べに変化をもたせ、体言止めや倒置法を効果的に用い、定型の魅力を引き出している。夢に向かう子どもへ寄り添い、見守る親の姿が心を打つ一連。

俳句

選者　舘岡誠二（八郎潟町）

入選一位『夏の夜』
（大川）八柳知徳

盆太鼓祖霊慰め風に乗る
友去りて星河に探す若き日々
気がつけばすいつちょの声月の暮

評　先祖への盆踊りの気持ちを詠い、座五に太鼓の響きが。二句目は友人との若い在りし日を偲び、星空を見つめ心を癒す作者。三句目はすいっちょの鳴き声に気づいた心境表現。

入選二位『人生前向きに』
（湯ノ又）畑澤トミ子

どんな日も笑顔気力の日向ぼこ
老いたって手足の騒ぐ盆踊り
この先も未来は広ぐ大稲穂

評　人間にはそれぞれドラマがある。一句目は日常の人柄に馴染める。二句目は郷土の盆踊りに愛着を持ち喜ぶ表情に生き生き感。三句目は大稲穂に将来の農業への期待句。

入選三位『稲穂』
（上樋口）石井トモ子

稲の穂がにっこり笑うコンバイン
農作業二人で超えた共白髪
亡父の意志継いだあととり黄金の穂

評　一句目、中七とコンバインが明るく力強い。二句目は夫婦での農作業に従事、共白髪に親しめる。三句目は父を追憶し後継者を詠出。三句とも農業への張りつめた呼吸句。

入選四位『蝉衣』
（湯ノ又）畑沢タマ子

おしゃれな児次々着て見す蝉衣
背の高き男の子窓拭き盆用意
父母の家を訪う道々の蝉時雨

評　生き生きとした児を蝉衣に比喩して明るい句。二句目は子どもの成長を巧みにとらえている。盆用意が素晴らしい。三句目は故郷へ向かう作者の人生句。蝉の雰囲気奥深い。

川柳

選者　浅利猪一郎（仙北市）

入選一位『花は優しい』
（新町）大原みどり

秋桜の海で昼寝を繰り返す
どんな罪あるのでしょうか薔薇の棘
向日葵が教えてくれた笑い顔

評　花を句材に、自身を詠った句群に好感が持てた。特に「薔薇」の句は薔薇に罪はなく、花を摘み取ろうとする人に罪があり、棘で守るしかないのでは…との思考の展開も出来た。

入選二位『金婚譜』
（西野）佐藤千鶴子

縦横の糸に結ばれ生きている
黄昏をゆるりと煮込む夫婦愛
相染めて絆濃くなる金婚譜

評　長い道のりを共に歩んできた夫婦の姿が見えた。「黄昏を煮込む」との表現には二人の姿が凝縮されている。末長い幸を祈らずにはいられなく、羨ましさも感じた。

入選三位『抜けだせば』
（大川）渡部光人

たられば を並べて悪い夢を見た
突き抜ける青さに湧いてくる勇気
難問は解けぬが走ること出来る

評　悔いを並べてみたところで時は戻せない。ならばどうするか。空の青さに奮い立ち、先ずは出来る事から行動を開始するとの若い志向に好感が持てた。

入選四位『母』
（紀久栄町）越後和子

遠い日の母の思い出しゃぼん玉
幼子の手をひく母のおしゃれ傘
伝記などないが確かな母の生

評　子にとって母とは永遠の存在で句材に取り上げられる事が多いが、幼い頃の母の姿を目に刻んでいる。記録には無い母の一生をしっかりと記憶に留めておく姿勢に共感した。

主催：町教育委員会
町芸術文化協会